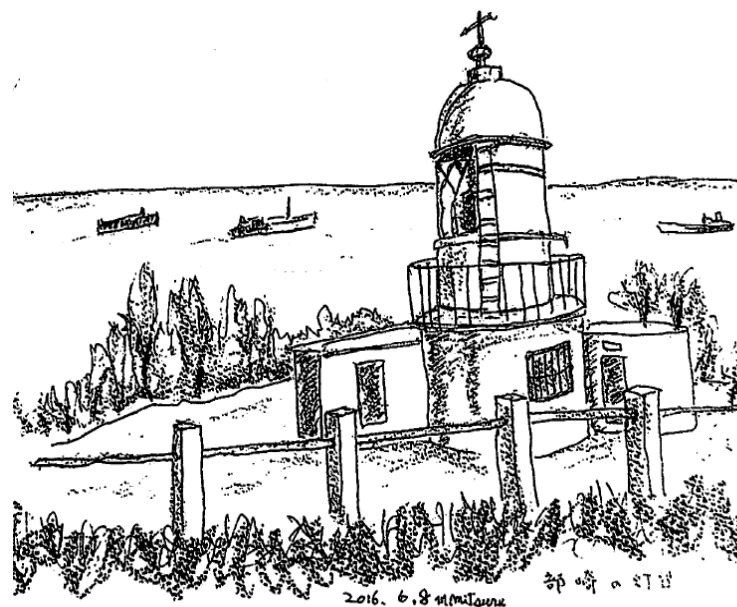


週報2020年5月10日



2020年教会標語聖句

キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。

コロサイ人への手紙 3章 15節

シオン教会信仰指標：“成熟したキリスト者を目指して”

日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団

北九州シオン教会

牧師：山崎銀次郎

<http://jesus.holy.jp/>

〒800-0038 北九州市門司区大里原町 6-10

TEL 093-381-4395(FAX…4396)

牧師携帯 090-6737-5276



2020年5月10（日）聖日礼拝

前奏	力丸勝子師
お祈り	山崎牧師(動画視聴不可能な方はそれぞれで)
聖句唱和	コロサイ人への手紙 3章 15節
讃美	新聖歌 382「心から願うのは」
聖書朗読	マタイによる福音書 7章 7~12節
説教題	「求めなさい」
お祈り	御言葉の応答の祈り
讃美	新聖歌 208「イエスは愛で満たす」
お祈り	終祷（派遣と祝福の祈り）
後奏	力丸勝子師
報告	山崎銀次郎牧師

交わりの三省

- *互いに愛し合っていますか
- *互いに敵し合っていますか
- *互いに祈りあってますか

説教要約

マタイによる福音書 7章 7~12

I導入

「求めなさい」

今日お読みした聖書の箇所は、山上の垂訓の抜粋です。ここでイエス様が伝えたいことは、すばり「求めなさい」です。「求める」という事をアプローチを変えて何度も伝えています。(求める、探す、門をたたく※だんだん積極的になっている事にも注目)イエス様は、それらの表現を繰り返す事で「継続的に求める事」の大切さを強調しています。しかしそれではこのイエス様の教えを解き明かすには不十分です。イエス様は求める事の大切さを読み手(聞き手)に認識させておき、同時に「何を継続的に求めるのか?」というもう一つの重大なテーマを提示しています。そしてこのテーマは9節から11節の例話に引き継がれて行きます。この例話の主題は「求めて来る息子に対して惜しみなく与える、天の神様」です。そこで何を継続的に求めるのか?の答えを提示しているのです。その答えとは「父の御心」です。今日の聖書箇所を通じてイエス様が本当に教えたることは、「私達が継続的かつ積極的に求める事を通じて、惜しみなく咎めなく与える神の心に出会いなさい」です。

すると、7章12節の結びの言葉も合点がいきます。正直言うと、私はこの12節の意味が字義的(言っている事)は理解しても、「求めなさい」との関連性がよくわかりませんでした。しかし「神様の御心を熱心に求める事を通じて、惜しげもなく与える神に出会いなさい」という事を中心に考えるならば、「今度は自分がそうしてもらったように、人々に惜しげなく愛や慈しみを与える人になりなさい」という結論になります。今日の私達への問いかけは「何を神様に求めていますか?」です。

II本論(証)

私は思春期の時、劣等感の塊でした。どうすれば人に見下されずに生きて行けるかいつも考えて生活していました。高校3年生の時、聖霊体験を通じて、イエス様の為に生きたいと強く願うようになりました。そうして始めた幾つかの奉仕でしたが、私は当時このようにお祈りしていました。「人前に出ても恥ずかしくないように、すらすらしゃべれるようにして下さい」「誰からも見下されないように何か特別な力を与え

て下さい」奉仕を始めても依然、劣等感に縛られていたのです。そこで神様は、すらすらと話せる力や、特別な能力を授けて下さいませんでした。神様からの答えは「そんなあなたを用いたい」「私が支え続けるから」と、この2つでした。様々な場面で「私は神の御用に相応しくない器」と嘆きましたが、主は繰り返しこの答えを与えて下さいました。その答えの中で私は神様に深く愛されている事を知りました。「あなたは私の息子だ」「私があなたを選んだんだ」「あなたの計画ではない、私の計画の中であなたを用いようとしている」父の心にたくさん触れられて、私は自らの劣等感に縛られなくなりました。自分が何かが出来たから、人より特別なのではなく、神様にとって唯一無二だから特別な存在だと気付かされたからです。今の私の祈りは「こんなにも大切にして下さる方の愛に応えたい。神様の計画に身を委ねて自分の精一杯をいつも捧げたい」に変えられました。

III結論

今日の私達への問い合わせは「何を神様に求めていますか?」です。私達は知らず知らずのうちに、お祈りが自己中心的になり、自分の要求が満たされないストレスを主にぶつけてしまいます。それは対人関係でも同じです。相手の都合を考えずに、色々な要求を繰り返し、満たされないストレスをぶつけてしまうのです。しかし一番の問題は怒る事でもストレスを溜める事でもありません。そんなことは人間なのでいくらでも起こり得る事です。問題はどれだけ信頼するか、**信頼関係の問題**なのです。神様の愛は決して変わることはありません。罪人の私をも愛して御子の命さえ与えて下さった方です。私達は神の御心に出会いまで求め続けなければなりません。神の慈しみ、平和、愛、喜びを知るまで何度も祈り続けなければなりません。そうすれば与えられます。神の大きな愛を受け取り、神の深いご計画を知る時、いかに自分が傲慢で自己中心であるかを知る事になります。しかしそれは私達の人生で最も大切な事である「へりくだって主を慕い求める」を学ぶヤンスにもなるのです。その時、弱いものを憐れむ父の愛を知るのです。その時、弱き者を憐れみ、人に心を配る、慈しみが与えられるのです。つまり聖書の要約である、「自分を愛するように隣人を愛しなさい」を実践出来るように造り変えられるのです。自らにも、他人にも、そして神様にも失望することなく、絶えず主の御心を求める者へと変えられ、前進してまいりましょう。

新聖歌382 心から願うのは

- 1 心から願うのは 主のようになること
御形に似るために 世の宝捨てます
**※主のように主のよう きよくしてください
この心奥深く 御姿を写して**
- 2 同情に満ちあふれ 愛に富み優しく
迷う人見い出して 主の許に導く
**※主のように主のよう きよくしてください
この心奥深く 御姿を写して**
- 3 謙遜と忍耐と 勇気とに溢れて
人びとを救うため 苦しみもいとわず
**※主のように主のよう きよくしてください
この心奥深く 御姿を写して**
- 4 主よ近くまいります 御油を注いで
今すべて主のものと 変わらせてください
**※主のように主のよう きよくしてください
この心奥深く 御姿を写して**
- 5 主の御靈 主の愛を 祈る間に満たして
御住まいにふさわしい 宮としてください
**※主のように主のよう きよくしてください
この心奥深く 御姿を写して**

【新改訳改訂第3版】

マタイによる福音書 説教題「求めなさい」

- 7:7 求めなさい。そうすれば与えられます。捜しなさい。そうすれば見つかります。たたきなさい。そうすれば開かれます。
- 7:8 だれであれ、求める者は受け、捜す者は見つけ出し、たたく者には開かれます。
- 7:9 あなたがたも、自分の子がパンを下さいと言うときに、だれが石を与えるでしょう。
- 7:10 また、子が魚を下さいと言うのに、だれが蛇を与えるでしょう。
- 7:11 してみると、あなたがたは、悪い者ではあっても、自分の子どもには良い物を与えることを知っているのです。とすれば、なおのこと、天におられるあなたがたの父が、どうして、求める者たちに良いものを下さらないことがあります。
- 7:12 それで、何事でも、自分にしてもらいたいことは、ほかの人にもそのようにしなさい。これが律法であり預言者です。

新聖歌 208 イエスは愛で満たす

イエスは愛で満たす 聖靈で満たす
私の心の中を
イエスに今 すべてを委ねて生きよう
主は私を満たされる

わが主イエス 私を満たす
わが主イエス 愛をもて